

全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 指導資料

令和7年度

言語表現技術（概要）

	内容	方法・時間
3級	童話や物語の短い文章の読み聞かせ	個別・2分
2級	紙芝居の実演	個別・3分
準1級	絵本の読み聞かせ	個別・3分
1級	お話の創作と実演	個別・3分

童話や物語の 短い文章の読み聞かせ

3級

I ねらい

童話や物語の短い文章を、正しく読んだり表現したりすることにより、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基礎的技術が身に付いたかを測る

2 内容（実技）（2分程度）

指示された童話や物語の短い文章を、指定された年齢の幼児の発達段階にふさわしく読み聞かせる

※出題されるお話は、2分程度の文章量

3 方法（受検生の動き）

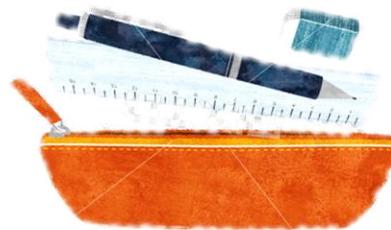
- ◎**指定年齢**は1週間前に提示される
 - ◎**実技問題（お話）**は受検3分前に提示される
- (1)所定の場所に行き、個票に必要事項を記入し、
実技問題（お話）の下読みをする（3分間）
- (2)入室し、挨拶をしてから実技問題・個票を提出する
- (3)開始の合図で「**題名**」を言ってから読み始める
- (4)読み終わったら実技問題（お話）を提出し、
挨拶をして退出する

4 準備するもの（監督者）

採点表

ストップウォッチ等

筆記用具



評 価

観点	読み方					態度	実技得点計（35点以上合格）
	1	2	3	4	5		
得点事項	1 明瞭な発音で読んでいる	2 句読点、段落を適切にとらえて読んでいる	3 お話の内容や発達段階にふさわしい速さで読んでいる	4 お話の内容にふさわしい声で読んでいる	5 読み誤りがない	1 幼児と接するのにふさわしい服装、髪型、態度である。	
得点	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	50
配点	45					5	

過去の出題例

「猿かに合戦」

「とっつく、ひっつく」

「なぞ問答」

「にぎりめしころころ」

「話十両」

「へこきじい」



参考図書「日本の昔話」第1~5集（福音館書店）

紙芝居の実演

2級

I ねらい

紙芝居を用いて、幼児の発達段階にふさわしい演じ方ができ、その扱い方や言語表現の基礎的技術が身に付いたかを測る



2 内容（実技）（3分）

指定された年齢の発達段階にふさわしい紙芝居を用いて、その年齢の幼児を前にしたつもりで、適切な表現方法で演じる

3 方法（受検生の動き）

- ◎指定年齢は1週間前に提示される
- ◎指定年齢にふさわしい紙芝居を各自が用意する
 - (1)入室し、挨拶をしてから実技問題・個票を提出する
 - (2)開始の合図で「題名」を言ってから演じ始める（3分間）
 - (3)演じ終わったら、挨拶をして退出する

4 準備するもの

(受検生) 紙芝居



(監督者) 実技問題・個票,

採点表, ストップウォッチ等,

筆記用具



※ 「紙芝居の舞台」を用いることが
望ましい

評 価

観点	紙芝居の演じ方					紙芝居の選択と扱い方		態度	減点	実技得点計（35点以上合格）
	1	2	3	4	5	1	2			
得点事項	明瞭な発音で演じている	間の取り方が適切である	お話の内容や発達段階にふさわしい速さで演じている	登場人物にふさわしい声で演じ、感情をこめている	聞き手の反応を確かめている	発達段階にふさわしい紙芝居を選択している	内容を自分のものとし、適切な扱い方をしている	幼児と接するのにふさわしい服装、髪型、態度である	(± 15秒以上の場合は1点減点する)	
得点	0・1・3・5	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	0・1・3・5		50
配点	35					10		5		

「構成する」とは

- ・文字を削る
- ・言葉を加える, 言葉を削る
- ・文章を加える, 文章を削る
- ・画面を飛ばす
- ・話をつくり変える

紙芝居の舞台の活用



「紙芝居の舞台」を用いる
ことが望ましい

絵本の読み聞かせ

準Ⅰ級

| ねらい

幼児の発達段階にふさわしい絵本が選択でき、それに応じた読み聞かせの技術が身に付いたかを測る

2 内容（筆記）（10分）

- ・紙芝居の役割，演じ方，扱い方等
に関すること
- ・絵本の種類に関するこ
- ・絵本の読み聞かせの方法，絵本の
選び方等について
- ・童話や昔話の著者，国や地方等に
について

2 内容（実技）（3分）

指定された年齢の発達段階
にふさわしい絵本を用いて、
適切に扱い、表情豊かに読
み聞かせを行う

3 方法（受検生の動き）

- ◎**指定年齢**は1週間前に提示される
 - ◎指定年齢にふさわしい絵本を各自が用意する
- (1)入室し、挨拶をしてから実技問題・個票を提出する
- (2)開始の合図で「**題名**」を言ってから読み始める（3分）
- (3)読み終わったら、挨拶をして退出する

4 準備するもの

(受検生) 絵本



(審査員) 実技問題・個票,

採点表, ストップウォッチ等,

筆記用具



評価

観点	読み方					扱い方		絵本の選択		減点
	1	2	3	4	5	1	2	1	2	
得点事項	1 いる	2 表情豊かに、感情をこめて表現している	3 明瞭な発音で、読み聞かせている	4 お話の内容にふさわしい表現で、間の取り方が適切である	5 幼児への視線が適切で、聞き手の反応を確かめている	「絵本の持ち方」が適切である お話の内容や発達段階にふさわしい速さで読み聞かせている	「絵本のめくり方」が適切である	発達段階にふさわしい絵本を選択している	絵と内容などがあつており、装丁がよい絵本を選択している	(構成した場合は5点減点する) (+15秒以上の場合は2点減点する)
得点	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・3・5・ 8・10	0・1・ 3・5	0・1・3・5	
配点	50					20		10		80

「構成する」とは

- ・文字を削る
- ・言葉を加える, 言葉を削る
- ・文章を加える, 文章を削る
- ・ページを飛ばす
- ・話をつくり変える

お話の創作と実演

Ⅰ級

I ねらい

各自が選択した対象児（3～5歳児）にふさわしいお話を創作することができ、そのお話を語ることによって、言語表現の知識・技術が身に付いたかを測る

2 内容（筆記） (10分)

- ・お話の創作や語りについて
- ・絵本の歴史、作者等に関すること
- ・言葉遊びや言語表現活動の名称
- ・言語の発達、保育の目的・目標など

2 内容（実技）（3分）

指定された観点にふさわしい内容のお話を創作し、対象児を前にしたつもりで、感情をこめて語る

3 方法（事前の受検生の動き）

- 1週間前に提示された観点にふさわしい内容のお話を創作する
- 対象児の年齢は受検生が決める
- 採点表の得点事項にそって3分で語れるように練習しておく

3 方法（検定時の受検生の動き）

- (1)入室し、挨拶をしてから実技問題・個票を提出する
- (2)審査員に対象児の年齢を知らせる
- (3)開始の合図で「題名」を言ってから語り始める
- (4)語り終わったら、挨拶をして退出する

「お話」の観点

①自然観察に関する内容

「草花」 「野菜」 「樹木」 「気象」 「天体」
「昆虫」 「動物」 「数量」 等

②基本的生活習慣に関する内容

「食事」 「睡眠」 「排泄」 「着脱」 「清潔」
「安全」 「整頓」 「言葉」 等

③豊かな情操や心を育てる内容

「驚き」 「喜び」 「悲しみ」 「優しさ」
「美しさ」 「愛情」 「思いやり」 等

4 準備するもの（審査員）

実技問題・個票、採点表

ストップウォッチ等、

筆記用具



評価

実技得点計（60点以上合格）

減点（±15秒以上の場合は2点減点する）

観点	話し方					内容				減点（十一秒以上の場合は2点減点する）	実技得点計（60点以上合格）
	1	2	3	4	5	1	2	3	4		
得点事項	1 表情豊かに、感情をこめて表現している	2 明瞭な発音で、話している	3 お話の内容にふさわしい表現で、間の取り方が適切である	4 幼児への視線が適切で、聞き手の反応を確かめている	5 お話の内容や発達段階にふさわしい速さで話している	1 対象児の年齢にふさわしい内容である	2 指導要項に示した①～③のうち、本年度指定の観点にふさわしい内容である	3 お話の内容が正しく適切である	4 幼児の夢をはぐくみ、共感できる内容である		
	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10		
	50					30					80

指導上の留意点

共通項目

丁寧に

はっきり

恥ずかしがらず

大きな声

で「読む」「演じる」「話す」などの練習を繰り返し行う

「速さ」について

作品の内容、場面により速さや
間は異なる

発達段階の違いを理解して作品
を読み込む

3級の作品は2分程度で読める
ものを提示している

「紙芝居」の扱い

- ・紙芝居の順番を確認する
- ・下読みを通して、登場人物等を確認する
- ・採点表の得点事項にそって、3分で演じられるように、繰り返し練習しておく

絵本の持ち方・めくり方

- ・安定した持ち方
- ・絵をじゃましないめくり方



「新しい絵本」は「開きぐせ」をつけておこう！

①



②



「開きぐせ」をつけることで、絵本が扱いやすくなると共に、長持ちする。

* 1ページずつ丁寧に行うとよい。

・帯は外しましょう。

③



④



「お話」のつくり方

- ①ゆるやかに始まる ②その後いろいろに変化
- ③山場を迎える ④急速に解決へ ⑤結末につながる

★台本はせりふを多くし、説明は少なく

表情豊かに語る

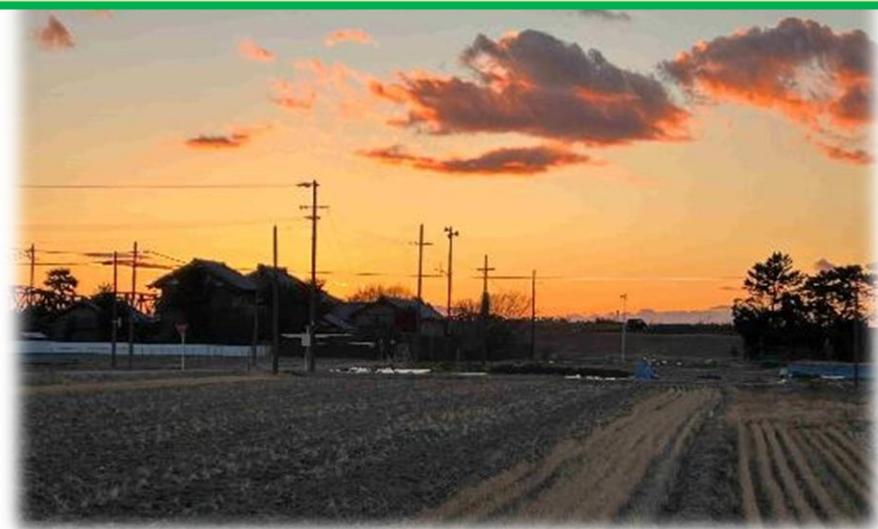
★何度も音読し、理解されにくいところは
加筆訂正する

★場面ごとの情景を思い浮かべながら語る
(声を出して練習する)

自然を観察する習慣



「自然の変化」を日常的に観察する癖をつけておくと、お話しの時に生かしやすい



図鑑などの活用

昆虫や植物などについて、図鑑などで調べたり、確認したりすることが大切です。

上達のコツ

- ・複数の幼児が目の前にいることをイメージして、練習する
- ・鏡を見ながら練習する。自分の姿や表情、癖などに気づきやすい
- ・友達と一緒に練習し、助言し、励まし合う



I級の評価

「豊かな情操や心を育てる」内容のお話を創作しなさい。そのお話を対象児を前にしたつもりで、3分間で語りなさい。

対象児：4歳児 題名：三つの種

対象児：4歳児 題名：転校生のガオくん

本日の研修資料として本人、保護者の了承を得て演じてもらっています。動画や静止画の撮影は絶対にしないでください。

評価

豊かな情操や心を育てる内容

4歳児

減点（±15秒以上の場合は2点減点する）

実技得点計（60点以上合格）